

システム天井用照明器具にLEDを採用。
 広角な光でシェード面を均一に照らす、クオリティの高いシステムを開発。



■ 導入先

ABC shikai

株式会社
 エービーシー商会さま



写真は大阪営業所（本物件）

● 東京／千代田区（本社）

塗り床材、硬質床仕上げ材、ゴム系床材、
 デッキ材、セラミックタイル、エキスパン
 ション、外装目隠しルーバー、天井材、
 洗面カウンターなどの建材を開発、輸入、
 販売されている。

■ 導入商品

システム天井用照明器具、光幕天井システム
 「アートシェードFEシステム」1台につき

LEDモジュール

暖色系DL-W026×64本 もしくは
 寒色系DL-W027×64本

電源ユニット

DL-YP009×1台

● LEDを使用したシステム天井用照明
 器具、光幕天井システム「アートシェード
 FEシステム」をシャープと共同開発。
 2011年1月に商品化に至った。

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

これまで光幕天井システムには、蛍光灯を使用していました。しかし蛍光灯の場合、
 光のムラができ、光源からアートシェードまである程度の距離が必要になるなど、
 課題の多い状態でした。

光がワイドに広がるLEDを採用したので、シェード面
 が均一に照らされ、光のムラの問題が解決しました。

光のムラが発生しないので、光源のLEDとアート
 シェードの間隔が短くなり、天井を高く設計するこ
 とも可能になりました。



■ 導入の背景

従来の光幕天井システムが抱える課題を解決する光源を探していました。

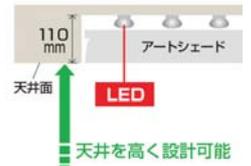
これまで、光幕天井システムには蛍光灯を使用していたのですが、光源とアートシェードの間隔が350~400mm必要なうえ、光のムラが発生する問題がありました。それらの問題を解決するため、シャープと協同でLEDを使った光幕天井システムを開発することになりました。

株式会社エービーシー商会
天井材事業部 西日本営業部 部長 野田 美津男さま

●蛍光灯の場合



●LEDの場合



■ 選ばれた理由

明るさを決め手に、今回のLEDを採用しました。

採用したLEDは、通常よりハイパワーであり、非常に明るいので、球数を少なく設計できます。さらに、特殊な広角レンズを使用しており、光がワイドに広がることでシェード面を均一に明るく照らします。高品質な光幕天井システム開発のため、ハイパワーで明るくシェード面を照らすLEDを選びました。



蛍光灯を使用したシステム天井用照明器具。光のムラが発生している。



シェード面を均一に照らした、「アートシェードFEシステム」

■ 導入後の効果

クオリティの高い光幕天井システムが完成。お客さまからの評価も上々です。

「ここまでシェード面が均一に光るとは思わなかった」との声をいただくなど、お客さまから好評です。また、光源とアートシェードの間隔が短くなったことで、天井を高く設計することが可能。これから大きく伸びる商品になると思っています。自信を持ってお客さまにおすすめできる商品を開発することができました。

■ 今後の展望

さらに優れたシステムをつくるため、シャープと開発に取り組みたいと思います。

光幕天井システムは、LEDの採用で高品質になり、お客さまに大変好評です。今後は、さらにハイパワーなものや1台で多くの光色を出せるような、これまで以上にクオリティの高い光幕天井システムを商品化する計画です。そのために、優れたLED技術を持つシャープと協力して開発をつづけたいと考えています。



寒色系と暖色系、2種類の光色。